

1 危機管理型水位計の概要

経緯

近年の豪雨災害の特徴を踏まえ平成29年度に「全国の中小河川の緊急点検」が実施され、平成32年度を目途に推進する対策が「中小河川緊急対策プロジェクト」（平成29年12月）として国土交通省によりとりまとめられた。この中に洪水に特化した低コストの水位計（**危機管理型水位計**）の設置が位置付けられた。

目的

避難の状況判断や河川計画等の策定のための水位計の設置が進んでおらず、洪水時における河川水位等の現地把握が困難であることから、水位把握の必要性の高い中小河川において、**洪水に特化した低コストの水位計（危機管理型水位計）**を設置し、**近隣住民の避難を支援**する。

危機管理型水位計の特徴

- 従来型の1/10以下の設置コスト（100万円～150万/基）
- 5年間メンテナンスフリー
- 運用システムは国機関及び自治体を構成員とした運営協議会により管理。
- 河川の水位が観測開始水位を超過すると観測を開始**し、危機管理型水位計運用協議会で運用するウェブサイト「**川の水位情報**」（<https://k.river.go.jp/>）で表示され、誰でもリアルタイムで川の水位が確認できる（「宮城県河川流域情報システム」（MIRAI）のリンク先からも閲覧可能）

2 これまでの取組内容

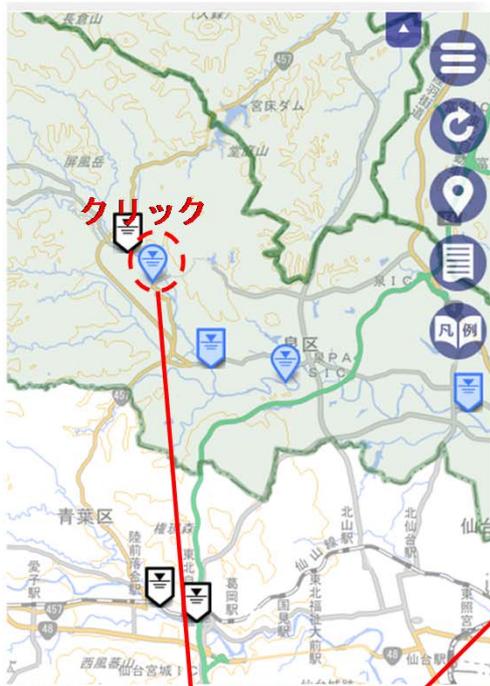
- 平成30年2月までに、県内全ての減災対策協議会で設置候補箇所を抽出。
- 設置箇所については、人家や重要な施設（要配慮者利用施設・市役所・役場等）の浸水の危険性が高く、確かな避難判断のための水位観測が必要な箇所を選定。
- 平成30年9月28日から**5箇所の先行設置箇所**で運用を開始。
- 平成31年4月1日から**県内21市町64箇所（58河川）**で運用開始。

	H30. 9～	H31. 4～
運用箇所数 (累計)	5	64

河川名	水位局名
七北田川	実沢去田屋敷 (無串橋上流)
七北田川	馬橋
旧砂押川	橋本橋
砂押川	飯土井新砂押迎
勿来川	勿来新橋
新川	高城居網
田中川	初原欠田



設置状況写真(七北田川 馬橋)



観測値一覧

七北田川 馬橋

凡例を非表示にする

堤防天端高から -1.88m

氾濫開始 0.00m

観測開始 -1.11m

河床の形・幅は模式で、実際のものとは異なります

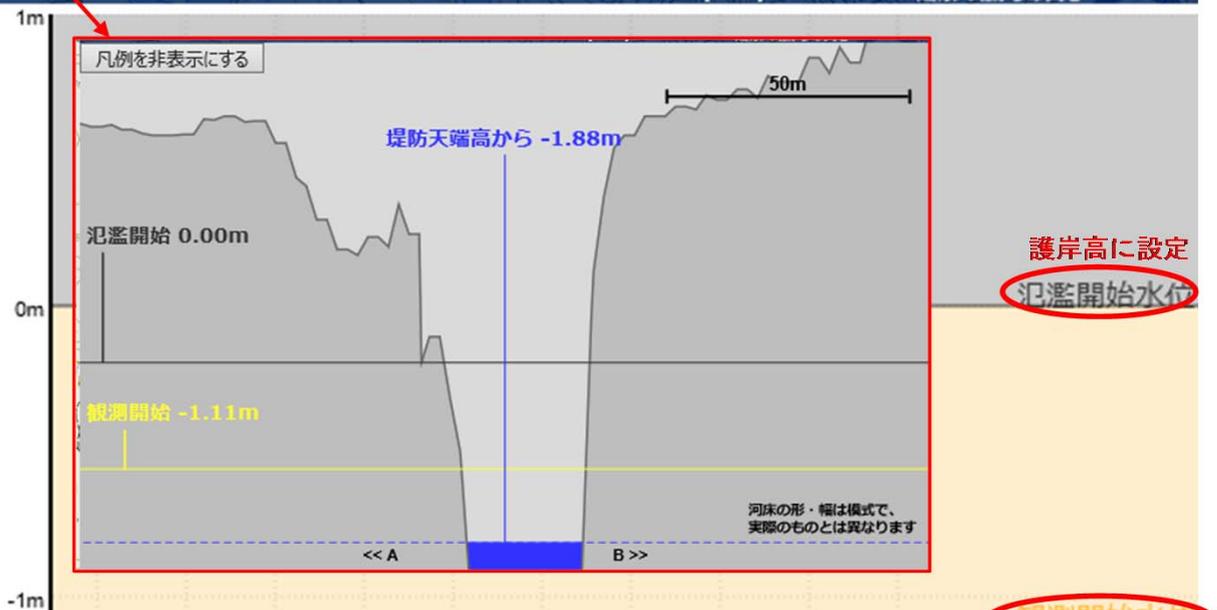
観測日時	観測時刻	堤防までの高さ	高さ
2019/04/04	00:00	堤防までの高さ	-1.88m
2019/04/03	00:00	堤防までの高さ	-1.88m
2019/04/02	00:00	堤防までの高さ	-1.87m
2019/04/01	00:00	堤防までの高さ	-1.88m
2019/03/31	00:00	堤防までの高さ	-1.89m
2019/03/30	00:00	堤防までの高さ	-1.91m
2019/03/29	00:00	堤防までの高さ	-1.91m
2019/03/28	00:00	堤防までの高さ	-1.90m
2019/03/27	00:00	堤防までの高さ	-1.92m

七北田川 馬橋

河川断面図 水位グラフ 観測値一覧

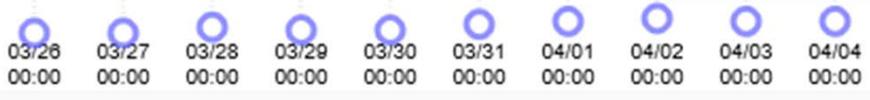
8.46m
8.56m
8.67m

2019/04/04 00:00 堤防天端からの高さ -1.88m



観測開始水位を超えると測定開始。
(当初は護岸高の1/2に設定)

※1日1回(午前0時)に死活監視を実施。



表示イメージ